

特色G Pに関連するシンポジウムの報告

平成19年度『特色ある大学教育支援プログラム』シンポジウム・茨城大学教養教育シンポジウム

「確かな学力の向上を目指す理系基礎教育の展開-特色G P・現代G Pの取組から-」

2008年2月19日(火) 主催：茨城大学大学教育センター

場所：茨城大学理学部K棟インタビュースタジオ

(主な対象者：大学、高校、一般、 参加資格：無)

インタビュースタジオにおいて、「確かな学力の向上を目指す理系基礎教育の展開-特色G P・現代G Pの取組から-」との表題で、特色G Pに関連するシンポジウムを開催した。本年度は、平成19年度特色G Pに採択された茨城大学の取組(「確かな学力の向上を目指す理系基礎教育」)の初年度にあたり、今後の展開をより充実したものにするため実施した。

シンポジウムでは、金沢大学より鈴木恒雄教授(総合メディア基盤センター長)、大阪府立大学より高橋哲也教授(総合教育機構総合教育開発センター主任)を招き、それぞれの採択されたG Pの取組内容について紹介いただくとともに、茨城大学の取組内容も報告した。さらに、これらの講演をもとに、発表者を中心に理系基礎教育に関するパネルディスカッションを開き、参加者による質疑討論を行った。プログラムは以下の通りである。

13:00～13:10 開会の辞 森野 浩
(茨城大学大学教育センター長)

13:10～13:20 学長挨拶 菊池 龍三郎
(茨城大学学長)

13:20～14:10 金沢大学理系基礎教育における
ICT 利活用の取り組み
鈴木 恒雄
(金沢大学総合メディア基盤センター

長・教授)

14:10～15:00 大阪府立大学の理系基礎教育の取組について
—数学教育を中心に—
高橋 哲也(大阪府立大学総合教育研究機構
高等教育開発センター主任・教授)

15:00～15:30 休憩

15:30～16:20 確かな学力の向上を目指す理系基礎教育
曽我 日出夫(茨城大学教育学部教授)

16:20～17:20 パネルディスカッション
鈴木 恒雄(金沢大学総合メディア基盤センター長・教授)



高橋 哲也（大阪府立大学総合教育研究機構高等教育開発センター主任・教授）

曾我 日出夫（茨城大学教育学部教授）

千葉 康生（茨城大学大学教育センター講師）

17:20 閉会の辞 白井 誠(茨城大学副学長)

上記の発表により、それぞれの大学の取組内容や実施に至る経緯などが詳しく知ることができた。金沢大学の鈴木恒雄教授からは、現代G Pの取組「I T教育用素材集の開発とI T教育の推進」においてのI C T利活用の仕組について話があった。特に、G Pの期間が終わってしまったときの対処について

も具体的に触れていた。大阪府立大学の高橋哲也教授からは、特色G Pの取組「大学初年次数学教育の再構築」の話を中心に、総合教育研究機構の発足と、基礎教育の取組（再履修クラスの設置、質問受付室の設置、webMath システムの導入など）についての話があった。

パネルディスカッションでは、理系基礎教育の具体的な内容に関する質疑など具体的な討論を行った。取組に至る経緯やそれを広めていく努力について、また、eラーニングの利便性についてなど話は多岐に渡った。これらにより、参加者はお互いに、理系基礎教育に関してさまざまな事例を知ることができ、より広い視点をもつことができた。

このことにより、茨城大学の取組において、e ラーニング普及の進め方や学生の自習支援などについて、新しい展開のアイデアを得ることができた。これを、今後の理系基礎教育の改革に活かしたい。

参加者は、68名（内茨城大学関係者58名、他大学関係者7名、高等学校関係者3名）であった。

